

# シオカラトンボの仲間たち

シオカラトンボは、長池公園でもごく普通に見ることができるトンボです。これによく似たトンボがほかに3種いるので、まとめてみました。いずれも、未成熟な個体は♂・♀とも黄色っぽい色をしており、♂は（コフキトンボは♀も）成熟するにしたがって腹に青白い粉をふいて色が変わってきます。なお、体型がかなり異なるのでここには入れませんでした。ハラビロトンボもこれらと同じように♂が黄色い地色に粉をふいて青くなります。

2005. 7. 6

## オオシオカラトンボ



2005. 6. 25 Simarin

### ▼成熟♂の特徴

体長	53 ~ 57mm
体型	がっしり
複眼の色	黒~こげ茶
腹の色	濃い青・先端が少し黒い
その他	羽の根元に黒い斑紋がある

他のトンボに比べて青色が濃く、引き締まった印象がある。開けた場所よりやや薄暗い木陰のある場所を好む。シオカラトンボより数は少なく、出現時期もやや遅い。

### ▼♀（未成熟♂も同色）



2004. 6. 19 Tosaka

♀は黄色と黒のコントラストが鮮やか。

## シオカラトンボ



2005. 5. 15 Simarin

### ▼成熟♂の特徴

体長	50 ~ 55mm
体型	腹は先端に向けてほっそり
複眼の色	緑がかった青灰色
腹の色	青白く、先から3分の1ほどが黒
その他	胸の部分の黒い筋が目立つ

4月中旬ごろから水辺の至る所で見られる。数も多く観察できる期間も長い。地面やコンクリートの上にべったりと止まることが多い。

### ▼♀（未成熟♂も同色）



2005. 5. 8 Tosaka

♀は茶色に黒い筋が入り「ムギワラトンボ」とも呼ばれる。

## シオヤトンボ



1997. 5. 25 Tosaka

### ▼成熟♂の特徴

体長	42 ~ 47mm
体型	やや太めでがっしり
複眼の色	緑がかった青灰色
腹の色	先のほうまで全体的に青白くなる

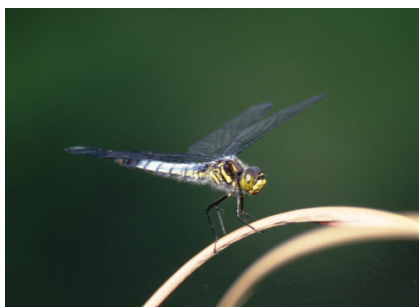
シオカラトンボとの識別ポイントは腹部。寸胴で先端だけがわずかに黒い。シオカラトンボより早く4月初旬ごろから現れ7月にはほとんど見られなくなる。数は少ない。緑色の葉より、枯れ枝や地面などに止まることが多い。

### ▼♀（未成熟♂も同色）



2004. 4. 25 Tosaka

## コフキトンボ



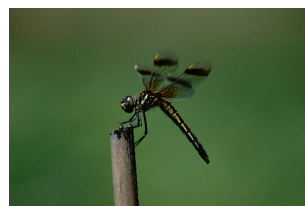
2001. 7. 1 Tosaka

### ▼成熟♂の特徴

体長	38 ~ 47mm
体型	腹が短く、複眼が大きい
複眼の色	黄緑~茶
腹の色	黄褐色の地色に白い粉をふく
その他	胸は黄褐色に黒い筋

シオカラトンボを小さくしたようなトンボだが、胸や複眼・顔が黄色っぽい。成熟すると胸の部分まで白く粉をふく。植物に止まることが多く、腰を曲げて「へ」の字型の姿勢をとるのが特徴。7月上旬ごろによく見られる。姿は似ているが、上記3種とは縁遠い種。

### ▼♀のオビトンボ型



1997. 8. 10 Tosaka (戸田市)

成熟した♀は、♂と同じように粉をふくタイプとオビトンボ型の2種類がある。関東地方でオビトンボ型はめったに見られない。